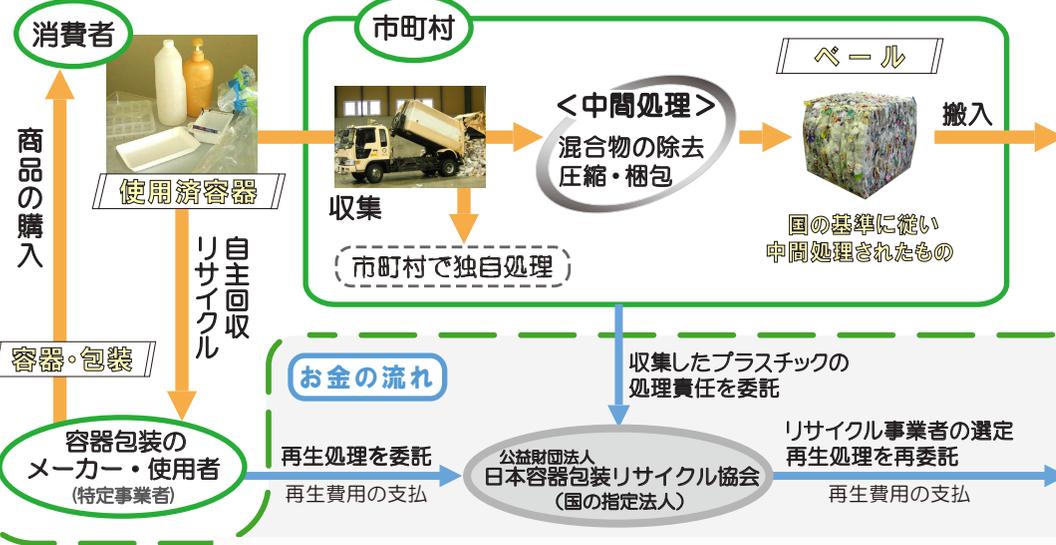


プラスチックリサイクルの流れ

容器包装プラスチックの収集



マテリアルリサイクル



Q. 分別するプラスチックの区別がしにくい・・・

商品が入っていた容器や包装のプラスチックを分別して下さい。
PETのボトルは「PETボトル」として別に分けますが、ボトル以外のPET(トレーなど)はプラスチックに分別します。リサイクル技術上、塩ビは取り除くことが望ましいです。
材質が見分けにくい、細かい、汚れがひどい、など分別が困難なものは無理に分別する必要はなく、燃えるごみなどに入れてください。
自治体により収集するプラスチックの種類や基準を独自に定めている場合は自治体の基準に従ってください。

Q. どこまできれいにすればいいの？

運搬や保管の間の腐敗や汚染を防ぐ為、中身を空にし、水で軽くゆすいでください。また、紙や金属など他の材質はできる範囲で取り除くとリサイクル率が向上します。



Q. リサイクルするより燃やすほうが環境に良いの？

環境問題についての情報を鵜呑みにする事への問題提起として、そのような視点で問い直しがされることがありますが、**実際はリサイクルの方が優れています。**
例えば、収集したプラスチック1.0kgをリサイクルする為に工場稼働などにかかる環境負荷はCO2換算で約0.2kgですが、焼却処理した場合には約2.6kgのCO2が大気中へと放出されます。
さらに良いのはリデュース・リユースですが、どうしても生じてしまう廃棄物については、なるべくリサイクルをして有効に資源を活用することが重要です。